



タ ン バ ヤ キ
マ ッ チ ン グ

あなたとグループ窯の
出会いの一冊

INTERVIEW:

グループ窯の皆さん

目次

01. 「あなたにとってグループ窯とは？」

メンバー8人に、それぞれが思う”グループ窯”についてお聞きしました。

02. 「タンバヤキ× マッチング」

1人ひとりの好みに合ったグループ窯の丹波焼をマッチング！

03. インタビュー特集

陶芸家たちの生の声をお届けします。

あなたにとって グループ窯 とは？

01 市野 健太さん

若手の挑戦の場。
個人では出来ないことや
思いつかない事も積極的に挑戦
できる場であれば良いと思う。

02 上中 剛司さん

常に互いを刺激し合い、
伝統を受け継ぎながらも現代の中
で魅力ある作品作りに励むことが
出来るグループ。
作品作りのみならず産地の活性化
にも力をそそぎ、丹波の行く末を
担う人材を育てる勉強の場。

03 市野 秀作さん

同世代のメンバーと切磋琢磨
できる場でもあり、
自分を高められる場所。

04 大上 裕樹さん

先輩は後輩に伝えるべきこと
を伝えることが最も重要で、
後輩は盛欲的に学ぶ。
その上で地域活性の為、
活動し、青年部という組織を
利用、活用し大きく自身を成
長させる場所。

05 清水 万佐年さん

これからの若手陶芸家を
育てる場であり、
産地の盛り上げ役。

06 市野 貴信さん

自分自身を成長できる
素晴らしいグループ。

07 市野 翔太さん

新しいこと、自分一人では
難しいことに挑戦できる
場所。先輩方の作品に刺激を
受け、自分の作陶に対して
考えをより深めることが
できる切っ掛けを
与えてくれる場所。

08 市野 和俊さん

個ではなかなか出来ない、
始められない事がたくさん
ある中で、マンパワーで実現
させることが出来る場所。
しかし、その集団の中でも個
を失わずより輝かせて表現
できる優れた環境。



製作者 木村 汐里

今田・丹波焼を愛し、地域全体に愛され、
"愛"が溢れるグループ。
1人ひとりが本気で、魅力的で。
追っかけてくなる陶芸家たちの集まりだと
感じています。

そんな、グループ窯の魅力が伝わる一冊に
なることを願って製作しました。

Let's start "MATCHING"!!!

6つのカテゴリー、A~Oの選択肢の中から、
当てはまるものをチェックしてください。
(アルファベットに○をつけて次のページに進む)

01. color genre

- a. パステル
- b. 鮮やか
- c. シック

02. favorite color

- d. ブルー系
- e. レッド系
- f. ホワイト & ブラック

03. touch

- g. つるつる
- h. 荒め
- i. 両方

04. feeling

- j. 現代風
- k. 古風

06. atmosphere

- n. 可愛い
- o. オトナ

05. handmade
experience

- l. 陶芸体験
したい
- m. したくない

選んだアルファベットが一番多く含まれている
窯元さんがあなたにマッチしているかも？！

雅峰窯→01

a. b. d. g.
j. l. n. o.

稲右衛門窯→02 省三窯→03

a. b. c. d. e.
f. i. j. k. l. n. o.

c. d. g. j. l. o.

昇陽窯→04

b. c. d. f. g.
j. k. l. o.

千代市陶房→05

c. j. l. o.

信水窯→06

b. j. k. m. o.

陶幸窯→07

d. f. g. k. l.

丹波

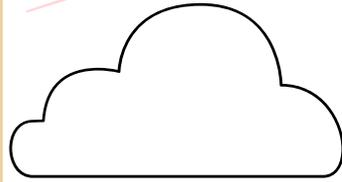
まるいち窯→08

c. f. m.

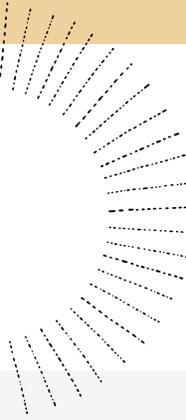




interviewed
市野 健太さん



雅峰窯の特徴は？

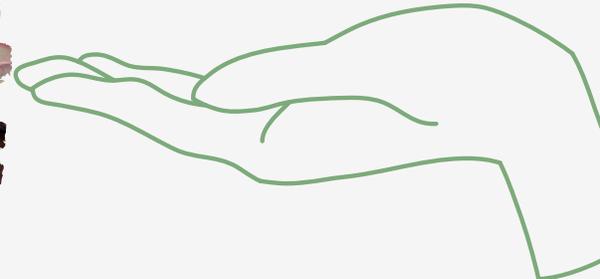


丹波焼の伝統を引継ぎながらも、
現代の食卓にあう器づくりを心がけています。
食卓を彩る器を中心に酒器や花器まで
豊富に取り揃えています。

丹波焼に対する
” 想い ”

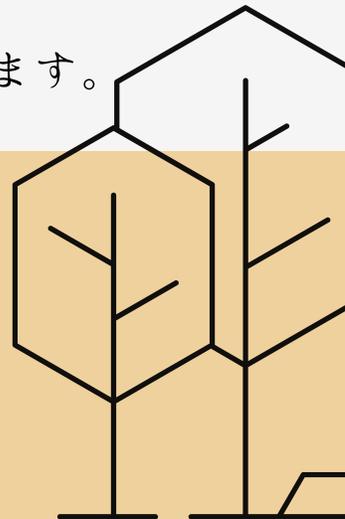


ライフスタイルに寄り添った、
生活空間に彩を持たせてくれる
うっわ達！



丹波焼は、伝統を受け継ぎながらも
時代のニーズにより多くの変化を重ねてきたように
思っています。私も丹波焼の伝統を守りながらも、
新しい丹波焼を表現していきたいという想いを持っています。

NO.01 雅峰窯



デザインにおいて、意識されていることは？

interviewed
上中 剛司さん



伝統と今風を掛け合わせたハイブリッドな丹波焼を意識しながら作陶しています。また、器以外にも伝統産地から発信する遊び心ある新しい和のカタチをコンセプトに万華鏡作家とコラボした丹波焼の陶筒を使用した万華鏡なども制作しています。

"彩色"シリーズが素敵です！
コンセプトはありますか？

近年、制作を続けている彩色シリーズは伝統技法を踏まえながらも斬新な印象を感じられるデザイン、少しレトロさも感じられるフォルムと色使いを意識したものです。



after コロナの時代に向けて

今後、丹波焼の産地全体として個々の窯元の魅力を伝える器のオンライン販売、ズームやVRなどを使ったオンラインツアーなどに注力し、更なる丹波焼のファン層を獲得する必要があると思います。各窯元のHPやオンラインショップの需要に合わせて、サイトのリニューアルなどに力を入れていきたいと考えています！

NO.02

稲右衛門窯

interviewed
市野 秀作さん

省三窯の特徴は？

特に釉彩シリーズは、
グラデーションが
美しい！

多彩な釉薬による装飾です。

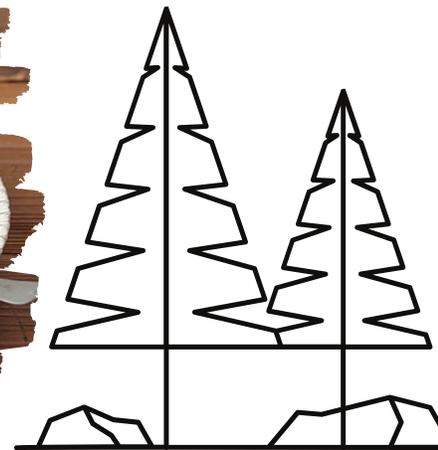
また、省三窯の器は「素朴さ」
「飽きが来ない」「ぬくもりを感じる」
がキーワードとなった作品です。



丹波焼に対する
今後の展望

「今田」という歴史ある産地で、
それぞれの世代が特色ある作品を作っています。
若手の世代で産地を盛り上げ、
次の世代に繋げていきたいです！

NO.03
省三窯



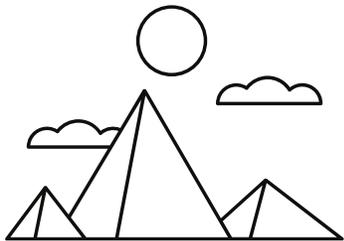
昇陽窯の特徴は？

interviewed
大上 裕樹さん

初代・2代目・母・3代目・妻の5人の作者がいるので、
バラエティー豊かなのが一つの特徴です。
また、昇陽窯は高台にあるため、景観も良く、丹波の
郷を感じれる窯元です！



どんな作品か
教えてください！



先代：伝統的な海老絵などの作品

2代目：しのぎや飴釉、丹波黒、白丹波など
色彩豊かなザ丹波焼な商品と絵付け

3代目：銀彩から鎬象嵌などの現代的な丹波焼

妻：アクセサリーや季節を楽しむ置物など



丹今後の展望について

先人からの伝承を重んじ、100年後も1000年後も丹波
焼が続くよう、後世にも繋がる・残す仕事を
していくことを心がけています。

全力で土と向き合い、人々の生活を豊かにする
という”想い”があります！

NO.04 昇陽窯





interviewed
清水 万佐年さん

千代市陶房について
教えてください！

千代市陶房には、バリエーション豊かな
作風の作品があります。
一人一人のお好みに合わせたオーダーメイドも
少ない数から承っています。
メイン通り添いにギャラリーがあります。
ぜひお越しく下さい！



綺麗な発色の秘密は？

磁器の土を混ぜ込んだ土を用いることで、
オレンジと青が鮮やかな発色になります。
自分流の丹波焼を日々追求しています！

この色合いが
魅力的！



NO.05 
千代市陶房

interviewed
市野 貴信さん



信水窯の特徴は？

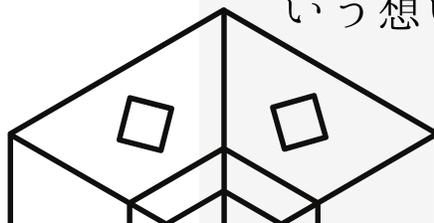
信水窯では黒や赤茶など、シンプルな色から丹波の土を感じられる、丹波焼らしい素朴な物を心がけてます。ここならではの雰囲気を感じられる器が揃っています。また、ギャラリーには茶道具、花入、食器などの展示もしているので、1人ひとりがお気に入りの陶器を見つけられると思います。



今後の展望について

今後丹波焼が発展していくために、時代にあった作品作りをしていきたいです！丹波焼は日本六古窯の1つとして注目されてると思うのですが…もっともっと色々な方々に丹波焼の魅力を知っていただきたいという思いが強くなります。

NO.06 信水窯





interviewed
市野 翔太さん

窯の特徴や
アピールポイントは？

使い勝手の良い食器、カラスの置物などを
メインに取り扱っています。シンプルな物が
多いですが、今は新しくデザインにこだわった
物も作成中です。

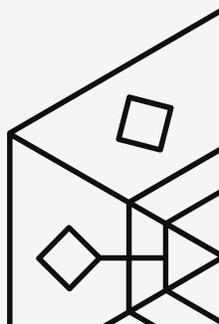
丹波焼に対する思い・
今後の展望について

丹波には古くからの伝統があり、様々な作
家がそれぞれの形で製作をしています。
伝統を継承する、新しい技術を取り
入れる、取り組みかたは様々ですが、
やっぱり丹波焼が好きで何が自分にできる
のかを模索する。伝統と革新をこれからに
どう伝えるのか、どう残していくのかを
考えていきたいと思っています。

伝統的なしのは
手になじむ…
魅力的なデザイン！

NO.07

陶幸窯



心がけている
ことは…?

interviewed
市野 和俊さん



「生活に根ざした器」を作るという想
いを持っています。
毎日皆さんに使っていただける、
そんな陶器であることを願って…



メッセージ
from 和俊さん

丹波まるいち窯さんは、
手作り感のあるやさしい、日常になじんでく
れそうな陶器が沢山!

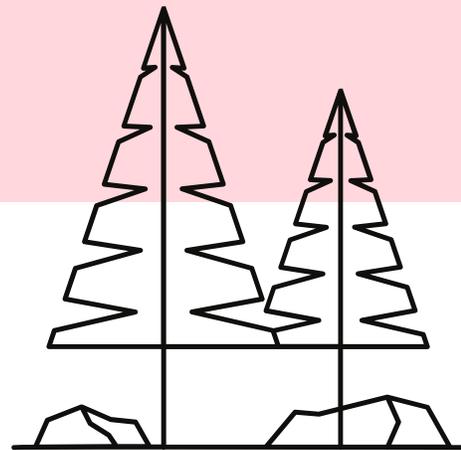
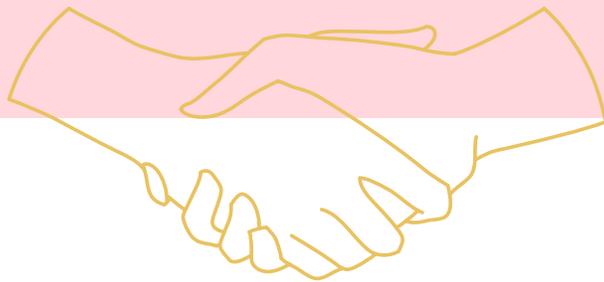
工芸の中にある手の温もりを伝えら
れるような作品作りをしています。

陶器の良さを皆さんに
知ってもらいたいです!

NO.08

丹波まるいち窯





Special Thanks : グループ窯の皆さん

2021.01